



小峰だより

第107号

5月

小峰ふれあい自然郷（都立小峰公園）は、都立秋川丘陵自然公園のほぼ中央部に位置し、谷戸田、せせらぎ、桜尾根、雑木林で成り立ち、里山の景観を残す魅力的な公園です。その中心施設である小峰ビジターセンターは、秋川丘陵自然公園の中心的な活動拠点です。

発行者：小峰ビジターセンター
発行日：平成29年5月1日

季節の見どころ～この時期の、スタッフおすすめの自然～

びんぼうぐさ

貧乏草 前編

～ハルジオンが咲く頃～



ハルジオン 花期：4月中旬～6月中旬

春の深まりと共に姿を現す白い野菊、貧乏草。あくまで“貧乏草”は俗称であって、ハルジオンという和名を持つキク科の植物です。

いまから百年ほど前の大正時代に、アメリカから観賞用として輸入されました。手をかけずとも旺盛に育ち、小菊のような花を咲かすことから日本人に好まれました。また根張りも良く、根から株分けすることも容易で、数を増やしていったのです。その後、人びとの嗜好の変化と共に飽きられ、見捨てられたハルジオンは、野生での増殖をはじめました。やがて大地に根を張る強さが仇となり、草むしりをするほど根はちぎれ、新たな株となり、田畠や庭などではびこるようになりました。

貧乏草という名は「折ったり、摘んだりすると貧乏になる」、「手入れがされない貧乏な家に生える」など迷信じみた諸説が由来とされます。

とかく迷信には、教えが隠されています。貧乏草は草むしりしても、根が残ると再び生えてくるので、草むしりし続けなければなりません。そこで、日々の暮らしの中「怠けず、精進し続けなさい」の戒めを説いた“働くないと貧乏になっちゃうよ草”的呼び名なのかもしれません。

小峰の里ではハルジオンが咲く頃、田畠や野山での仕事が本格化し、人も自然も活気づく季節を迎えます。



横に広がるように伸びる根は、引き抜くと容易にちぎれてしまう



群生するハルジオン

小峰周辺では農繁期の5月中旬頃、開花のピークを迎える

小峰公園 園場

里山ミニ教室

*事前申し込み不要

小峰の四季が織りなす、里山の自然や文化にふれるミニ教室です。午前中は公園内を巡るガイドウォーク、午後はビジターセンターでクラフト教室が催されます。



こんなことありました！

【さくら山祭り2017】4月8日（土）

今年の桜は開花が足踏み状態。ちょっと肌寒い中の開催となりました。ときおり小雨が降る中でも「去年楽しかったから、また来たよ」と、多くの方にご来場いただきました。



【里山ミニ教室】4月2日（日）

- ガイドウォーク 「花咲く里山 新緑散歩」
- クラフト 「桜のビーズストラップ」

ガイドウォークでは、石垣に沿って咲いているスミレの花を観察しました。小さく可憐なスミレの花も、よく見てみると複雑な形をしていました。クラフトでは、桜の小枝をビーズに仕立てたストラップをつくりました。



おしらせ

～そろそろ、ご注意を！～



初夏の小峰公園では、さまざまな生きものが躍動しあげます。その中にはヘビやハチなどの危険な生きものも含まれます。十分にご注意いただき、自然観察をお楽しみください。詳しくは小峰ビジターセンターにお尋ねください。

画像右下にマムシ！



多くの方からご要望をいたしておりました“昔ながらの魚釣り体験会”を復活、開催いたします。詳しくはホームページやチラシをご覧ください。お楽しみに！

※ホームページへの掲載は5月下旬を予定



小峰ビジターセンターでは、館内の展示やスライドの上映、公園内の自然解説等を行っています。また、お客様のご要望に応じた、オーダーメイドの自然体験プログラムも行っています。お申し込みは、実施希望日の3ヵ月前から1ヵ月前までの受付となります。詳細はお問い合わせください。

小峰ビジターセンター

〒190-0152 東京都あきる野市留原 284-1
TEL: 042-595-0400
● 開館 9:00～ 16:30 (休館日は年末年始のみ) P30 台

小峰ビジターセンター 検索

※イベント情報や最新の自然情報などが閲覧できます！

公園へ行こう！

モバイルサイト 小峰公園



お客様サポートセンター(協会の事業全般に関するお問合せ)
TEL: 03-3232-3038
8:30～ 17:30(土・日・祝・年末年始を除く)